

Homework 07

ことばを科学する：人間の再発見（主題別科目：思索と言語）

2013 年度 2 学期

奥 聡

(A)

添付の文書、ベイカー『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』（岩波書店：pp.1-23）「1. コード・トーカーの逆説」を読んで以下の問いに答えなさい。

1. pp.1-7 で述べられている内容と異なるものを2つ選びなさい
 - a. ある言語を別の言語に翻訳するプログラムはできていない
 - b. ナヴァホ語が米国軍の暗号に使われたのは、それが英語とも日本語ともかなり違った言語であるから
 - c. 現在の人工知能による言語処理能力は、1960 年代に期待されたものをはるかに下回っている
 - d. 大人が外国語を学んで、母語話者として通用する域に達するのは不可能である
 - e. ある二つの言語のよい翻訳システムが完成しても、いくつかの設定を変えるだけでは、別の言語の翻訳としては機能しない
 - f. チェスの名人を破るコンピュータプログラムはあるが、5 歳児と同じ英語能力を持ったコンピュータプログラムはない
 - g. ナヴァホ語が米国軍の暗号に使われたのは、それが英語に十分似た言語であったから
2. pp.7-13 で述べられているナヴァホ語の特徴に含まれていないものを1つ選びなさい
 - a. ナヴァホ語では、「(物を) 運ぶ」を表す単語が 10 個以上ある
 - b. 英語の[l]は有声音だが、ナヴァホ語には声帯を振動させない無声の[l̥]がある
 - c. ナヴァホ語には、「兎」に相当する単語がない
 - d. ナヴァホ語には接頭辞が多く、単語の基本的語根を見つけるのが難しい
 - e. ナヴァホ語では、主語も直接目的語も動詞の前に来る

(B)

添付の文書、ベイカー『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』（岩波書店：pp.1-23）「1. コード・トーカーの逆説」を読んで以下の問いに答えなさい。

3. pp.13-18 で述べられていることと異なるものを2つ選びなさい。
 - a. 子どもの言語習得は、「学習」ではなく、周りで話されていない言語を「忘却」することである
 - b. 子どもが持って生まれが言語を獲得するための特別な仕組みを、言語学は「普遍文法」と呼んでいる
 - c. ナヴァホ族の子どもと遊んで育っても、白人の子どもにはナヴァホ語の習得は難しい
 - d. アリゾナの砂漠で暮らしていたナヴァホ族が、ハイテク戦争で使われる言葉を理解するための訓練には、膨大な時間が必要であった
 - e. アメリカ軍海兵隊の上官たちは、ナヴァホ族の兵士が暗号通信兵として役に立つとは思っていなかった

f. 文学作品の翻訳は、忠実に訳そうとすると美しくなく、美しく訳そうとすると不正確になると思われている

4. pp.18-23 で述べられていることと異なるものを 2 つ選びなさい

- a. 人類学者は人間の文化同士の相違点をあまり見ようとしない
- b. 少数言語は話者は、その周りの多数派である言語（あるいはその話者たち）に脅かされていると感じている
- c. 英語もナヴァホ語も受動態にすると動作主を省略できる
- d. 英語もナヴァホ語も基本文では、動詞と目的語が隣接する
- e. 英語にもナヴァホ語にも、主語と時制に合わせた、動詞の屈折が存在する
- g. 認知心理学者は、文化を越えた人間の思考の類似性を強調する傾向がある

(C)

添付の文書、バイカー『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』（岩波書店：pp.1-23）「1. コード・トーカールの逆説」を読んで以下の問いに答えなさい。

(D)

「現代日本語の「標準語」が、東京山の手方言をもとにしているのは、東京山の手方言が他の日本語の方言に比べて、言語的特徴がより優れているからである」

1. 上の主張を「科学的」「客観的」に支持するには、どのような論拠・証拠を挙げればよいか。できるだけ具体的に論じなさい。

2. 上の主張に、「科学的」「客観的」に反対するには、どのような論拠・証拠を挙げればよいか？できるだけ具体的に論じなさい。